2026年度

学生募集要項

Student Application Guidelines

26
院
後

国際コミュニケーション研究科
国際コミュニケーション専攻

（博士後期課程）

武蔵野学院大学
大学院

建学の精神

「他者理解」

3つのポリシー

ディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与方針）

本学では以下のような能力を身につけ研究成果をおさめ、かつ所定の単位を修得した学生は、修了が認定され、博士（国際コミュニケーション）の学位が授与されます。

①国際コミュニケーションの知識・理解
国際コミュニケーションの基盤となる言語及びコミュニケーションに関する理解を深める一方、歴史的背景を踏まえると共に時代の流れを意識しながら良好な国際関係を築けるよう確かな見識を身に付けた人材。

②国際コミュニケーションの背景の文化・社会の理解
カリキュラムの多面的履修や各自の研究を通して、日本文化・社会、国際文化・社会に関する深い理解と高い見識を備え、研究者として問題を解決に導く能力を身に付けた人材。

③研究者としての態度・志向性
建学の精神「他者理解」に基づき、研究倫理を遵守し、研究者として研究計画・研究発表・研究報告・論文執筆に真摯に取り組む姿勢やプレゼンテーション能力など研究者としての汎用的な能力を身に付けた人材。

④総合的な研究経験を通しての創造性と独自性
研究指導等を通して身に付けた専門的な知識を基に、国際コミュニケーションの視点からの研究をまとめた博士論文が、知識の活用能力、批判的・論理的思考力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力などを統合し、これまでの先行研究を踏まえ、十分な実証が行われ、確かな見識を身に付けた人材。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

カリキュラム・ポリシーとは簡単に言えば、本学の建学の精神、教育理念、養成する人材像を実現するための基本的な考え方を具体化したもの。以下のような方針に基づいて博士後期課程のカリキュラム（教育課程）を編成しています。

①実践的で高度なコミュニケーションの研究に重点を置き、国際コミュニケーションに深い理解を目指す人材を養成するため、言語・コミュニケーション研究科目、日本文化・社会研究科目、国際文化・社会研究科目を配置する。

②言語・コミュニケーション研究科目では、言語やコミュニケーションから派生する文化的な影響の研究が深められる科目を配置する。

③日本文化・社会研究科目では、日本文化・社会を中心に日本文化・社会の独自性や日本文化・社会と異文化社会との異同を究明する科目を配置する。

④国際文化・社会研究科目では、国際文化・社会を中心にグローバルな視点からの研究が深められ、国際社会から見た日本の位置を究明する科目を配置する。

⑤勤労観、職業観、研究者としての姿勢を身に付け、それぞれが直面するであろう様々な課題に柔軟にかつたくましく対応し、社会人・職業人・研究者として自立していくことができるようにするものとして、院生が最終的に研究として博士論文として結実できるよう、研究指導教員により細やかな研究指導を行う。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

本学では入学試験形態によりアドミッション・ポリシーをそれぞれ設けています。

○教育目的

国際感覚を持ち、国際的舞台や大学、研究機関等で研究者として活躍しうる知識、言動、行動に加え、異文化理解に関するコミュニケーション能力を有し、知識基盤社会をリードする高度な学識を備えた人材育成を目的とする。国際コミュニケーションを実現する為に、高度なコミュニケーション・スキルや理論を修得した上で、国際的な視点から日本文化・社会を捉え、国際文化・社会の深い理解力を身につけた、高度な学識を備え、学際的な教育・研究を行うことを教育研究の目的とする。（本大学院学則第五条より）

○求める人材像

知識基盤社会を支える高度な知的な素養を備えた人材養成への期待は、国際的なものとなっている。本専攻では国際感覚を持ち、国際的舞台や大学研究機関で研究者等として活躍しうる知識、行動力ならびに異文化理解に関するコミュニケーション能力を有し、もって知識基盤社会をリードする高度な学識を備えるという観点から教育・研究を行うことを理念とする。そこで、高度なコミュニケーション・スキルを背景にして、文化・社会を高度なレベルで理解、研究し、「他者理解」に基づく「共生的社会」を構築していこうとする問題意識を持ち多面的な異文化理解の交流や相互の発展を企図する。本専攻はこうした必要性に対応するものとして、「国際コミュニケーション」を掲げ、学際的な教育・研究を実施し、その教育・研究の専門家の養成を目的とする。（本大学院学則第五条より）

学内進学者選抜

本大学院、博士前期課程の国際コミュニケーション専攻において、教育・研究を十分理解し、明確な目的意識をもって大学院生活を送り、「国際コミュニケーション」に関する専門的知見を高めてきたかを評価する。知識基盤社会を支え、高度な職業的舞台で展開していくスキルと高度な学識を備えるという実践的観点から、研究に従事でき、博士論文をまとめることができる人材を求める試験。英語、日本語、中国語、資料読解うち2科目選択（語学試験は母語を除く）、小論文、面接、書類審査を課す。

一般選抜

本専攻の教育・研究目標を十分理解し、明確な目的をもって研究生活を送ることができるかを評価する。加えて、その基盤となる力としての語学力を確認する。知識基盤社会を支え、高度な職業的舞台で展開していくスキルと高度な学識を備えるという実践的観点から、研究者として自立でき、博士論文をまとめることができる人材を求める試験。英語、日本語、中国語、資料読解うち2科目選択（語学試験は母語を除く）、小論文、面接、書類審査を課す。

社会人選抜

社会人として培った経験、その経験から得たコミュニケーションの力や積極的に物事を理解しようとする意欲、明確な問題意識をもって研究生活を送ることができるかなどを評価する。知識基盤社会を支え、高度な職業的舞台で展開していくスキルと知識素養を備えるという実践的観点から、研究に従事でき、かつ、社会人としての経験を生かし、研究者として自立でき、博士論文をまとめることができる人材を求める試験。小論文、面接、書類審査を課す。

外国人留学生選抜

異なる言語・教育・政治・文化のもとに育った日本語能力の高い外国人留学生を院生として入学させ、修了後は、国際化の進む我が国と出身国との前向きな交流に貢献でき、かつ我が大学の伝統を受け継げる人材を確保する。このため、高度な日本語能力を有し、本学の大学院教育・研究目標を認識し、将来の自分の専門に関して強い目的意識と研究意識を有し、日々の研究活動に耐え、研究者として自立でき、博士論文をまとめることができる人材を求める試験。小論文、面接、書類審査を課す。

研究内容について

自分が取り組む研究内容と上記の人材像が、整合性において妥当であるかどうかや、自分が取り組む研究テーマを指導する研究指導教員がいるかどうかも、事前によく確認してください。

個人情報の取り扱いについて

本学では、個人情報については個人のプライバシーを保護し、「個人情報に関わる法律」に基づき慎重に取り扱っています。出願および入学手続においてご記入いただいた氏名、住所、生年月日等の個人情報については、入学試験の実施、合格発表、入学手続およびその他の付随する業務を処理するためにのみ利用します。

また、入学手続をされた方については、上記の個人情報を教務事務等で利用するとともに、学友会へ譲渡します。入学後の個人情報の取り扱いについては、オリエンテーション等で説明を行います。

※留学生選抜は、外国人留学生選抜募集要項（別冊）を参照してください。

目　　次

国際コミュニケーション研究科
国際コミュニケーション専攻
（博士後期課程）

1　専攻および募集定員 (日本国内外からの留学生含む) …… 02
2　募集人数・出願期間・選抜日程等一覧 …… 02
3　受 験 資 格 …… 03
4　出願書類等 …… 04
5－1 受験料・出 願 方 法 …… 05
5－2 試験日時・試験会場・試験科目・配点等 …… 05
5－3 不 正 行 為 …… 06
6　合 格 発 表・入学手続 …… 07
7－1 学　納　金（入学金・授業料等）…… 07
7－2 そ　の　他 …… 07
8　受験上および修学上の配慮を希望する受験について …… 08
9　入学試験受験資格審査を希望する者 …… 08
10　長期履修生について…… 08
11　学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症について…… 08

※綴じ込み書類一覧

- 入学志願者調書……出願書類②
- 研究計画書……出願書類③
- 職務経験報告書（社会人選抜）…出願書類⑥
- 入学志願票……出願書類①

■1　専攻および募集定員等（日本国内外からの留学生含む）

研究科・専攻	募集定員	修業年限	授与する学位
国際コミュニケーション研究科 国際コミュニケーション専攻 （博士後期課程）	３名	３年	博　士 （国際コミュニケーション） Doctor of Philosofhy in International Communication

■2　募集人数・出願期間・選抜日程等一覧

試験区分	回	募集人数	選　考　方　法	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
学　内進学者	1	若干名	・英語、日本語、中国語、資料読解のうち２科目選択（語学試験は母語を除く） ・小論文 ・面接 ・書類審査	2025年 10月20日(月) ～ 11月 6日(木)	11月15日 （土）	11月20日 （木）	12月 4日 （木）
	2			2025年 12月 4日(木) ～ 12月18日(木)	2026年 1月10日 （土）	1月15日 （木）	1月29日 （木）
一　般	1		・英語、日本語、中国語、資料読解のうち２科目選択（語学試験は母語を除く） ・小論文 ・面接 ・書類審査	2025年 10月20日(月) ～ 11月 6日(木)	11月15日 （土）	11月20日 （木）	12月 4日 （木）
	2			2025年 12月 4日(木) ～ 12月18日(木)	2026年 1月10日 (土)	1月15日 (木)	1月29日 （木）
社会人	1		・小論文 ・面接 ・書類審査	2025年 10月20日(月) ～ 11月 6日(木)	11月15日 （土）	11月20日 （木）	12月 4日 （木）
	2			2025年 12月 4日(木) ～ 12月18日(木)	2026年 1月10日 （土）	1月15日 （木）	1月29日 （木）

※窓口受付　　平日　９時～16時30分　　土曜日　９時～12時40分

日曜・祝日および10月25日(土)、10月27日(月)、10月28日(火)、12月6日(土)
12月13日(土)は、受付を行いません。

※郵送の場合　　出願は出願期間内必着。

■3　受験資格

学内進学者選抜

本大学院のアドミッション・ポリシーを理解し、次の各号のいずれかに該当する者。

(1)武蔵野学院大学大学院博士前期課程に在籍する日本人学生で、2026年3月までに修了見込の者。

(2)武蔵野学院大学大学院博士前期課程を修了した日本人学生で修了後２年以内の者。

一般選抜

本大学院のアドミッション・ポリシーを理解し、次の各号のいずれかに該当する者。

(1)大学院博士前期課程（修士課程）を修了して修士の学位を有する、2年未満の者および2026年３月までに大学院博士前期課程（修士課程）修了見込の者。

(2)修士の学位または専門職学位を授与された者または2026年３月までに授与される見込みの者。

(3)外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者および2026年３月までに修了見込の者。

(4)文部科学大臣の指定した者。

(5)外国の学校が行う通信教育において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者。

(6)我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当の日本校））を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者。

(7)国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者。

(8)大学等を卒業し、大学、研究所等において２年以上研究に従事した者で、本大学院において修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者。

(9)本大学院において、個別の入学資格審査により、大学院を修了し修士の学位を修得した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年４月１日までに満24歳に達する者。

※前記（8）、（9）については事前審査が必要ですので、出願期間開始日より６週間前までに教務部入試係までお問い合わせください。

社会人選抜

本大学院のアドミッション・ポリシーを理解し、次の各号のいずれかに該当する者。

（1）大学院博士前期課程（修士課程）を修了して修士の学位を有し２年以上が経過した者、または「一般選抜」の受験資格（２）～（９）のいずれかに該当する者で、２年以上の職業その他の社会的実務経験を有すること。

※前記「一般選抜」の必要条件（２）～（９）のうち、（８）、（９）については、事前審査が必要ですので、出願期間開始日より６週間前までに教務部入試係までお問い合わせください。

■4　出願書類等

出願書類等	提出者	摘　　要
① 入学志願票	全　員	・本大学院所定用紙 ・写真1枚 縦４㎝×横３㎝（上半身、正面、無背景）３カ月以内に撮影したものを指定欄に貼付すること。
② 入学志願者調書	全　員	・本大学院所定の「入学志願者調書」表裏に記入すること。
③ 研究計画書	全　員	・原則として本大学院所定の「研究計画書」表裏に記入すること。ただし、本大学院所定用紙で必要とされている形式どおりであれば、パソコン等を用いて各自で作成した研究計画書の提出を認める。ただしその場合はＡ４表裏２枚を厳守すること。
④ 成績および単位修得証明書	全　員	（出願前３カ月以内に発行されたもの） ・最終出身大学・大学院作成のものを各１通。出身大学・大学院に編・転入学した者は、それ以前の短大・大学・大学院の成績証明書も添付のこと。
⑤ 大学院修士学位記の写しおよび修了証明書もしくは修了見込証明書	全　員	・修士学位記の写し１部（修士学位取得者） ・出身大学院作成の証明書を１通。または最終出身校作成の証明書を１通。【大学院（博士前期課程、修士課程）を修了した者と同等以上の学力があると認められる証明書】
⑥ 職務経験報告書および在職証明書	社会人	・原則として本大学院所定の「職務経験報告書」に記入すること。なお、記載事項が裏面以上になる場合は、本用紙の裏面をコピーして使用すること。「在職証明書」を合わせて提出すること。
⑦ 受験料	全　員	・本大学院所定の受験料（30,000円）振込用紙に住所、氏名等を記入し、入学志願票（副票）に取扱銀行収納印の押印を受けること。

出願上の注意事項

（１）出願書類等に不備がある場合には受理しないことがあるので、十分注意してください。

（２）出願書類等は、返還いたしません。また、入学志願票受理後は、原則として記載事項の書き換え・変更は認めませんので、記入漏れのないように確認してください。

（３）一旦納入した受験料については、返還いたしません。

（４）出願書類等に事実に反する記載等があった場合は、受験および合格を取り消すことがあります。

（５）修士論文のコピーを提出してもらう場合があります。（後日返却いたします。）

※研究計画書については本大学院Webサイトの「入試情報」に掲載の「研究計画ハンドブック」を参照ください。

■５－１　受験料・出願方法

○受験料

３０,０００円

※銀行等窓口または本大学院窓口で納入する場合、本要項添付の振込用紙を用い、出願期間内に納入してください。

○本大学院窓口受付

平　　日　　９：00～16：30
土 曜 日　　９：00～12：40
日曜・祝日および10月25日（土）、10月27日（月）、10月28日（火）、12月6日（土）、12月13日（土）は、受付を行いません。

○郵　　送

速達郵便で出願期間内必着にて送付してください。

■５－２　試験日時・試験会場・試験科目・配点等

○試験日時

日　　程　　２ページの一覧表参照
開始時間　　以下の時間割を参照

※入構開始時間は８時40分です。
※９時45分から試験ガイダンスを行います。（９時40分までに入構してください。）
※原則として試験開始後30分を経過した場合、受験を認めません。
※受験票、筆記用具、また必要な方は昼食を持参してください。

○試験会場

武蔵野学院大学 大学院　　埼玉県狭山市広瀬台3－26－1

○試験科目・時間割・配点等

学内進学者選抜

※学内進学者選抜及び一般選抜における「英語」「日本語」「中国語」「資料読解」試験では辞書（2冊）の使用を認めますので、各自で持参してください。
電子辞書やスマートフォン等の使用は不可とします。
辞書の貸出は一切いたしません。

時　　間	科　　目	配　点
10時00分 ～ 12時00分	英語、日本語、中国語、資料読解のうち２科目選択（語学試験は母語を除く）	200点（各100点）
13時00分 ～ 14時00分	小 論 文	100点
14時20分 ～	面　　接（面接用紙記入を含む）	100点

※書類審査（研究計画書等）の配点は 100 点。

一般選抜

※学内進学者選抜及び一般選抜における「英語」「日本語」「中国語」「資料読解」試験では辞書（2冊）の使用を認めますので、各自で持参してください。
電子辞書やスマートフォン等の使用は不可とします。
辞書の貸出は一切いたしません。

時　　間	科　　目	配　点
10時00分 ～ 12時00分	英語、日本語、中国語、資料読解のうち２科目選択（語学試験は母語を除く）	200点（各100点）
13時00分 ～ 14時00分	小 論 文	100点
14時20分 ～	面　　接（面接用紙記入を含む）	100点

※書類審査（研究計画書等）の配点は 100 点。

社会人選抜

時　　間	科　　目	配　点
10時00分 ～ 11時00分	小 論 文	100点
11時20分 ～	面　　接（面接用紙記入を含む）	100点

※書類審査（研究計画書等）の配点は 100 点。

※小論文、面接等では、受験者が最近読んだ研究に関する書籍、論文等について問う場合がありますので、ご承知おきください。（執筆者、書名等をしっかりと明示できるようにしてください。）

■　5－3　不正行為

武蔵野学院大学大学院では、入学試験を厳正に実施し、全ての受験者が公平・公正に受験できるよう努めています。そのため、受験者の皆さんは、本大学院の受験に際して、以下の点を熟読のうえ、試験に臨んでください。

なお、不正行為となった場合には、その場で受験の中止と退出が指示され、それ以降の受験ができなくなるとともに、選考対象から除外されます。また、受験料は返還されません。

（1）不正行為となること

・入学志願票、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（入学志願票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の氏名、受験番号を記入する等）をすること。

・カンニング（試験の教科または科目に関係するメモやコピー等を机上等に置くことや見ること、教科書、参考書、辞書（学内進学者選抜・一般選抜を除く）等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の解答用紙等を見ること、他の人から答えを教わること等）をすること。

・他の受験者に答えを教えることや、カンニングの手助けをすること。

・配布された問題冊子及び解答用紙を試験室から持ち出すこと。

・【解答はじめ。】の指示より前に、問題冊子を開くことや、解答を始めること。

・試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
※イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。

・【解答やめ。筆記用具を置いて問題冊子を閉じてください。】の指示にしたがわず、筆記用具をもっていることや、解答を続けること。

（2）不正行為となる場合があること

・試験時間中に、電卓や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書（学内進学者選抜・一般選抜を除く）等の書籍類をかばん等にしまわず、許可なく身に付けていることや、手にもっていること。

・試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信、アラーム、振動音等）を長時間にわたって鳴らすことや、試験の進行に影響を与えること。

・試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。

・試験会場において、他の受験者の迷惑となる行為をすること。

・試験会場において、監督者等の指示にしたがわないこと。

・その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

■ 6　合格発表・入学手続

○ 合格発表

２ページの一覧表の合格発表日の欄参照

本人宛に郵送通知（合格発表日に発送）し、学内掲示および電話での合否確認はいたしません。

合格者には、入学手続書類を同封します。

○ 入学手続

２ページの一覧表の入学手続締切日までに、別表に記載してある学納金を本大学院所定の振込用紙で振り込んでください。

■ 7－1　学　納　金（入学金・授業料等）

（単位：円）

	全額納入の場合	前期分のみ納入の場合	後期分	備考
入学金	180,000	180,000	――	◎期間内に初年度合計896,280円もしくは前期分540,280円を所定の振込用紙で振り込んでください。 ◎前期分のみを振り込んだ場合、後期分は2026年9月末日までに納入していただきます。 ◎入学を辞退する場合は、2026年3月31日㈫12時までに所定の書式に従って書面で本大学　院事務局まで申し出てください。申し出があった場合は、受験料・入学金を除く学費を返却します。(返却に要する振込手数料は受験者負担となります。) ◎入学手続期間内に初年度合計金額または前期分のいずれかを振り込まない場合は合格を取り消します。
授業料	530,000	265,000	265,000	
施設費	170,000	85,000	85,000	
小計	880,000	530,000	350,000	
学友会費	12,000	6,000	6,000	
諸経費	4,280	4,280	――	
小計	16,280	10,280	6,000	
合計	896,280	540,280	356,000	

＊武蔵野学院大学、武蔵野学院大学大学院(修士課程）(博士前期課程)に在学もしくは修了して博士後期課程に合格した者は、入学金が免除されます。
＊「諸経費」：前年度の実績「学生教育研究災害傷害保険（財）日本国際教育支援協会)」(2,600円)
「学研災付帯賠償責任保険(財)日本国際教育支援協会)」(1,020円)、校章代（660円）
を合わせた費用です。差額が出た場合は、入学後に精算いたします。
＊2・3年次は、上記の表の費用から「入学金」「諸経費」を除いた額が必要となります。
＊長期履修をご希望の方は、別途お問い合わせください。

■ 7－2　その他

＊奨学金については「日本学生支援機構」その他修学資金として「生活福祉資金」、地方自治体や民間団体の奨学金制度や、本学独自のもの等があります。詳細につきましては本学奨学金窓口までお問い合わせください。
＊日本政策金融金庫「国の教育ローン」を利用することもできます。こちらのローンは日本学生支援機構の奨学金と重複して利用できます。詳しくは 0570－008656（教育ローンコールセンター）もしくは、ホームページをご参照ください。

■ 8　受験上および修学上の配慮を希望する受験について

病気や障害等のために、受験上および修学上の配慮を希望する場合は、必ず出願手続前に「受験相談申請書」を記入して学生募集係にご相談ください。本学が必要と認めた場合には、受験上および修学上の配慮について、事前に志願者等と面談を行います。事前の申請がない場合、または出願手続後に申請された場合、ご希望に添えないこともありますので予めご了承ください。なお、この面談は、受験上および修学上の配慮について確認するものであり、合否の判定とは一切関係ありません。受験相談の申請については、必ず本学Webサイトをご確認ください。

○申請における必要書類一覧
【全員】
・「受験相談申請書」（本学WebサイトよりA4で印刷し記入したもの）
・「医師による診断書（原本またはコピー）」（希望する配慮内容が必要であると判断できるもの）
【障害者手帳または精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方のみ】
・「身体障害者手帳のコピー」「精神障害者保健福祉手帳のコピー」

○申請手順
①受験相談を希望する日時は各選抜の出願受付開始日より1か月以上前の日付を設定してください。
②上記の必要書類を揃え、受験相談希望日時の２週間前までに郵送・FAX・メールのいずれかの方法にて学生募集係に提出してください。
〔送付先〕〒350-1328　埼玉県狭山市広瀬台3-26-1　武蔵野学院大学大学院　学生募集係
TEL：04-2954-6131　FAX：04-2954-6134　E-mail:exam@u.musa.ac.jp
③いただいた希望をもとに、実施する日時をお電話でお伝えします。
④志願者からの申請を受理したのち、受験上および修学上の配慮について、事前に面談を行います。

○受験相談に伴う留意事項
留意事項については、本学Webサイトをご確認ください。

■ 9　入学試験受験資格審査を希望する者

（■３ 受験資格 の 一般選抜 の必要条件（8）、（9）および 社会人選抜で受験する場合）
本大学院の各選抜の出願開始日の６週間前までに申し出てください。
所定の受験資格認定申請書を送付いたします。なお、審査には原則として面接を行います。詳細は本大学院教務部入試係にお問い合わせください。

■１０ 長期履修生について

本大学院では、修業年限を４年～６年とする制度を設けています。希望する場合には、事前相談をした上で、出願時に長期履修申請書を提出する必要がありますので、本大学院教務部入試係までご連絡ください。

■１１ 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症について

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ・麻疹・新型コロナウイルス感染症等）に罹患し、治癒していない者は、他の受験者や試験監督者等へ感染する恐れがあるため、受験および来学をご遠慮願います。

これにより受験ができなかった者に対しては、一定の要件を満たす場合に別日程への受験の振替等を可能とします。受験の振替にあたっては、受験資格を満たす限り、試験区分の変更も可能とします。

ただし、振替等により生じる受験料の差額は返還できません。また、受験の振替を希望しない場合や振替受験を欠席した場合等に、受験料は返還できません。

詳細は、本学Webサイトをご確認ください。

該当するものに〇印をつけてください。

出願書類	②

試験方式	学内進学者 ・ 一 般 ・ 社会人

※ 受験番号	

2026年度 武蔵野学院大学大学院

国際コミュニケーション研究科
国際コミュニケーション専攻（博士後期課程）入学志願者調書

フリガナ		性　別	生　年　月　日
氏　　名			西暦　　年　　月　　日生
現 住 所	〒	TEL　（　　） 携帯電話　－　－	
本　　籍	都道府県	E-mail	@

保証人父母または	氏名		続柄		職業	
	住所	〒	TEL　（　　）		

	在 学 期 間（西暦で記入してください）	学校名、学部、学科、課程、専攻等
学歴	年　　月 卒業	中 学 校
	年　　月 入学	高等学校
	年　　月 入学・編入学	
	年　　月 卒業（見込）・修了（見込）・退学	
	年　　月 入学・編入学	
	年　　月 卒業（見込）・修了（見込）・退学	
	年　　月 入学・編入学	
	年　　月 卒業（見込）・修了（見込）・退学	
	年　　月 入学・編入学	
	年　　月 卒業（見込）・修了（見込）・退学	

	在 職 期 間（西暦で記入してください）	会社名、部署名等
職歴	年　　月（　　）	
	年　　月（　　）	
	年　　月（　　）	
	年　　月（　　）	

学費負担者主たる	氏名		続柄		職業	
	住所	〒	TEL　（　　）		

賞罰		修得語学	
専門学校、大学別科や研究生などに在籍している場合は、学校・コース名等を記入してください。			

〈記入上の注意〉
1）※印の欄は記入しないでください。
2）年号は西暦で記入してください。
3）ここに記載された個人情報は、入学試験の実施、合格発表、入学手続、その他の付随する業務を処理するためにのみ利用し、本人の同意なくそれ以外の用途に用いたり、第三者に提供することはありません。
4）黒ボールペンで記入してください。

入学志願理由

入学後の研究について	希望する指導教員名	第一希望	第二希望

研究テーマ：

研究計画概要(問題意識も含む)：

大学院博士前期課程(修士)の研究テーマ		指導教員名	

下記①～③のうち該当するものに○をつけ、大学院修士論文題名および概要を記入してください。
なお､②に該当する場合には、特に興味をもったテーマおよび概要を記入してください。

大学院で修士論文を　①提出した、または提出予定　②未提出、または制度なし　③特定課題

修士論文の題名または興味をもったテーマ：

概　要：

フリガナ	
氏　　名	

※　受験番号

フリガナ	
氏　　名	

※　受験番号

出願書類	③

※ 受験番号	

2026年度 武蔵野学院大学大学院
国際コミュニケーション研究科
国際コミュニケーション専攻（博士後期課程）

研究計画書

フリガナ ローマ字 (中国にあってはピンイン名)		性別	希望する指導教員名	第一希望	
氏名				第二希望	
研究テーマ					

１．その研究の意義

２．入学直後の取り組みについて

〈記入上の注意〉

１）※印の欄は記入しないでください。
２）入学志願者調書の「研究計画概要（問題意識も含む）」を踏まえて、さらにその内容を深めて記載してください。
３）希望する指導教員名が未定の場合は空欄としてください。
４）研究計画書は**この用紙、表裏２枚におさめてください。**
５）この所定用紙で必要とされている形式どおりであれば、各自のパソコン等で作成した研究計画書の提出を認めます。ただし、**Ａ４で表裏２枚を厳守してください。**
６）ここに記載された個人情報は、入学試験の実施、合格発表、入学手続、その他の付随する業務を処理するためにのみ利用し、本人の同意なくそれ以外の用途に用いたり、第三者に提供することはありません。
７）黒ボールペンで記入してください。

フリガナ	
氏　　名	

※　受験番号

フリガナ	
氏　　名	

※　受験番号

フリガナ	
氏　　名	

※　受験番号

出願書類	⑥

※ 受験番号	

2026年度 武蔵野学院大学大学院
国際コミュニケーション研究科
国際コミュニケーション専攻（博士後期課程）

職務経験報告書

フリガナ		性別	生年月日	西暦　　年　　月　　日生
氏　　名				

在職年月	西暦　　年　　月　～　西暦　　年　　月	
会社名等		常　勤　・　非常勤

職名・職務内容・研究内容

在職年月	西暦　　年　　月　～　西暦　　年　　月	
会社名等		常　勤　・　非常勤

職名・職務内容・研究内容

〈記入上の注意〉

1）※印の欄は記入しないでください。

2）職歴のある方は、過去・現在の職歴およびその職名・職務内容・研究内容について全て記載してください。

3）記載事項が本用紙の両面に収まらない場合は、本用紙の裏面をコピーして使用してください。

4）ここに記載された個人情報は、入学試験の実施、合格発表、入学手続、その他の付随する業務を処理するためにのみ利用し、本人の同意なくそれ以外の用途に用いたり、第三者に提供することはありません。

5）黒ボールペンで記入してください。

フリガナ	
氏　　名	

※　受験番号

在職年月	西暦　　年　　月　～　西暦　　年　　月	
会社名等		常　勤　・　非常勤
職名・職務内容・研究内容		

在職年月	西暦　　年　　月　～　西暦　　年　　月	
会社名等		常　勤　・　非常勤
職名・職務内容・研究内容		

在職年月	西暦　　年　　月　～　西暦　　年　　月	
会社名等		常　勤　・　非常勤
職名・職務内容・研究内容		

A

出願書類	①

※ 受験番号	

武蔵野学院大学大学院
国際コミュニケーション研究科
国際コミュニケーション専攻
（博士後期課程）　入学志願票

試験方式	学内進学者選抜・一般・社会人	該当するものに〇印をつけてください。
2科目選択試験	英語・日本語・中国語・資料読解	

フリガナ		性　別	写真貼付 （縦）4㎝×（横）3㎝ 上半身・正面・無背景 3カ月以内撮影のもの 3枚とも同一のもの
氏　　名			
フリガナ			
現 住 所	〒		
T E L 携　帯 E-mail	（　　） －　　－ @	生年月日 （西　暦）	年　　月　　日生 （満　　歳）

1)※印の欄は記入しないでください。
2)ここに記載された個人情報は、入学試験の実施、合格発表、入学手続、その他の付随する業務を処理するためにのみ利用し、本人の同意なくそれ以外の用途に用いたり、第三者に提供することはありません。

切り離さないでください

B

※ 受験番号	

2026 年度
武蔵野学院大学大学院
国際コミュニケーション研究科
国際コミュニケーション専攻
（博士後期課程）　入学志願票（副票）

試験方式	学内進学者選抜・一般・社会人	
フリガナ		性　別
氏　名		
3 取扱銀行収納印	1	※備考
		※教務受付印

1)※印の欄は記入しないでください。
2)該当する部分は〇で囲んでください。

切り離さないでください

C

※ 受験番号	

2026 年度
武蔵野学院大学大学院
国際コミュニケーション研究科
国際コミュニケーション専攻
（博士後期課程）　受　験　票

試験方式	学内進学者選抜・一般・社会人	
フリガナ		性　別
氏　名		
※備考		

記入上の注意
1)※印の欄は記入しないでください。
2)該当する部分は〇で囲んでください。

受験心得
1)受験当日は、本票を必ず持参してください。
2)試験開始20分前までに登校してください。
3)筆記用具を持参してください。
4)試験中の携帯電話の使用はできません。

振込依頼書

ご依頼日	年　月　日	電信扱	手数料	百万	千
振込先銀行	飯能信用金庫 狭山西支店			¥	3
預金種目	普通預金	口座番号	2040231		0
口座名	ガク)ムサシノガクイン				0
受取人	埼玉県狭山市広瀬台3－26－1				0
					0
					0
					円

科目

金額	現金	
	内訳 当手	枚
	他手	枚

3 取扱銀行収納印

依頼人	フリガナ	
	受験者氏名	
	住所	〒　（電話）

（取扱店保管）

注記入上の意　〇各票の太線の中だけボールペンで記入ください。

取扱銀行へのお願い　〇収納印は、①・②・③にもれなく正確に押印し、①・②各票は依頼人にお返しください。

納付後切り離し

2 取扱銀行収納印

2026年度　受験料振込金受取書

金額		¥30000
受験者氏名	フリガナ	
住所		
受取人		(学) 武蔵野学院
取りまとめ銀行		飯能信用金庫 狭山西支店

年　月　日
振込銀行名　銀行　店
（本人保管）

交通アクセス

■鉄道（最寄り駅まで）
新宿・本川越から・・・・・・西武新宿線→「狭山市駅」下車→西武バス/スクールバス
池袋・飯能・秩父から・・・西武池袋線→「稲荷山公園駅」下車→スクールバス
大宮・朝霞台・坂戸から・・・JR川越線・東武東上線→「川越駅」下車→スクールバス

■スクールバス
「狭山市駅」「稲荷山公園駅」「川越駅」と大学を結んでいます。
詳細は本学Webサイトをご確認ください。

■西武バス（約15分）
「狭山市駅」より「武蔵野学院大学」行→終点下車
「狭山市駅」より「日生団地（つつじ野団地経由）」行
または「智光山公園（つつじ野団地経由）」行→「広瀬消防署前」下車 徒歩約10分

■自動車
圏央道 狭山日高インターから約５分
関越自動車道 川越インターから約20分

〒350−1328
埼玉県狭山市広瀬台3-26-1

武蔵野学院大学大学院
教務部 入試係

ＴＥＬ ０４（２９５４）６１３１
ＦＡＸ ０４（２９５４）６１３４
E-mail kyoumu@u.musa.ac.jp
https://www.musashino.ac.jp/mggs/